



実践で使えるデータ分析の知識とスキル

地域の様子を知るために実施したアンケートは、その後どの手順で分析すればよいでしょうか。今回の研修では、データセットの作り方や具体的な検定方法など分析に必要な基礎知識について学びました。グループワークでは、OpenEpiという統計ソフトを使い、実際にデータ分析を行いました。

講義の様子

講義では、データセットの作成から示し方に至るまでを習いました。まず、データセットの作成にあたっては、コード表を作成して、入力後には外れ値をチェックします。また、データの集計や分析の方法は、データのタイプ（ラベルか連続する数か）によって異なることも学びました。途中、統計ソフトOpenEpiを用いて、95%信頼区間の算出やカイ2乗検定の演習がありました。手軽に利用可能な統計ソフトを活用することで、手元にあるデータを有効活用することが可能です。

～講師紹介～



福島県立医科大学
総合科学教育研究センター
後藤あや

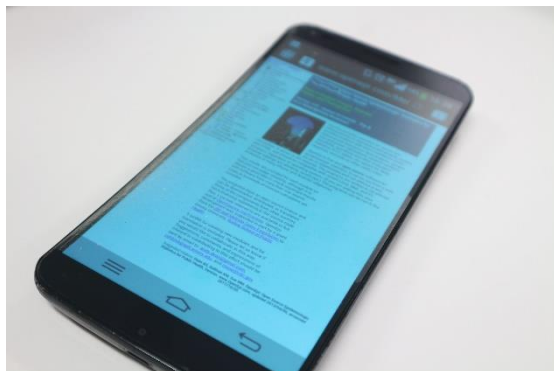
平成7年山形大学医学部卒業、平成10年米国ハーバード大学公衆衛生大学院修士課程（国際保健学）修了、平成12年山形大学大学院医学研究科博士課程（公衆衛生学）修了。

米国ポピュレーション・カウンシルのベトナム支部勤務を経て、平成14年より福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座、平成28年度より総合科学教育研究センター教授に着任し、現在に至る。平成24年から1年間、ハーバード大学公衆衛生大学院武見国際保健プログラム研究員。福島県の県民健康調査「妊産婦に関する調査」の副室長兼任、日本公衆衛生学会モニタリング・レポートシステム委員。

専門領域は、母子保健、国際保健、疫学、人材育成。



▲コード表の作成について勉強中。



▲スマホでも開けるOpenEpiのサイトページ。
<http://www.openepi.com>

グループワークの様子

グループワークでは、実際に行われた調査結果をもとにした課題について、グループで相談しながら取り組みました。課題の文章からデータのタイプを読み取り、どの分析を用いるのが適切かを検討しました。

OpenEpiを利用して分析し、その後結果解釈まで行いました。



◀グループで相談しながら課題に取り組みました。OpenEpiを使って分析中。

▶課題の分析を行うためにカイ2乗検定を用いることにしました。2×2の表に数値を入力しています。



アンケート集計結果

アンケート回収数は、参加者42名中41名でした。

評価項目	そう思う*
研修の資料や進行について 配布資料は適切だった 時間配分は適切だった 進行は適切だった	98% 93% 100%
講義について 講義内容が理解できた 講義は今後の保健活動に役立つと思う 学んだことを同僚に伝えたいと思う	83% 95% 90%
話し合いについて 話し合いは今後の保健活動に役立つと思う	80%
あなたご自身について 研修を受ける前よりも、保健活動に対する自信が増したと思う 研修を受ける前よりも、健康に関して住民と話し合う自信が増したと思う	56% 39%
今後の研修に向けて 今日のような研修にまた参加したいと思う この研修への参加を同僚にお勧めしたいと思う	95% 90%

* 5段階評価：「1. 全くそう思わない」～「5. 大いにそう思う」の4と5の合計

編集後記

データを分析することは地域住民の健康状態の把握、事業の評価などにつながり、さらには保健活動の方向性を示すことができます。そのため、地域保健を担う医療従事者には重要な技術です。このような技術を日々の保健活動の中で実際に取り組めるよう本研修会ではOpenEpiを用いて信頼区間の算出、カイ2乗検定を実施しました。本研修会で習得した技術を活用して手元のデータを分析し、その結果をもとに職場の同僚と意見交換を重ねることが保健活動を進める上で大切だと思います。（吉田）

* 復習ポイント*

- ・複数回答の場合のデータの作り方は？
- ・95%信頼区間とは？
- ・線グラフの用途は？